

財務の概要

平成 28 年度は、前年度に引き続き施設将来計画を着実に実行した。河田町キャンパスでは平成 28 年 1 月に閉鎖した青山病院の健康事業の後継施設として本院にトータルヘルスケア・予防医学センターを開設した。附属医療施設では八千代医療センター新病棟(第 2 病棟)が平成 28 年 6 月に竣工し、8 月より運用を開始した。

また前年度着工した教育・研究等も平成 28 年 9 月に竣工し、新校舎棟についても本院 1、2 号館の解体が終了し、来年度より着工する予定である。

平成 28 年度決算は、収入面では平成 26 年 2 月の医療事故とそれに続く平成 27 年 6 月の本院の特定機能病院承認取消、本院の耐震増強工事实施に伴う一時的な稼働病床数の減少、東医療センターの電子カルテ導入による影響(患者数減)の長期化、看護師不足により八千代医療センター増床稼働が予定通りに進まなかった、等により医療収入が減少した。私立大学等経常費補助金は 100%支給となったが、大型の研究事業が平成 27 年度に終了したため補助金全体では 7 億 2 千 9 百万円の減少となった。結果、事業収入合計で前年度に比べ 38 億 7 千 8 百万円減少した。

一方、支出面では賞与削減・人員減により人件費が前年度に比べ 28 億 1 千 1 百万円減少したことを始め、青山病院等の施設閉鎖に伴う活動経費が減少したことにより、全体で 45 億 5 千 9 百万円減少した。

最終収支差額はマイナス 22 億円となった。経費削減を進めた結果、前年度より 6 億 8 千 1 百万円改善したが、3 年連続の収支差額赤字という大変厳しい結果となった。